

# 馬鈴しょ（生食用）

|             | 2月 |   |   | 3月                  |   |   | 4月                          |   |    | 5月                       |   |   | 6月    |        |        | 7月     |        |   | 8月  |   |    | 9月                |   |   | 10月                             |   |   |
|-------------|----|---|---|---------------------|---|---|-----------------------------|---|----|--------------------------|---|---|-------|--------|--------|--------|--------|---|-----|---|----|-------------------|---|---|---------------------------------|---|---|
|             | 上  | 中 | 下 | 上                   | 中 | 下 | 上                           | 中 | 下  | 上                        | 中 | 下 | 上     | 中      | 下      | 上      | 中      | 下 | 上   | 中 | 下  | 上                 | 中 | 下 | 上                               | 中 | 下 |
| 生育期節        |    |   |   |                     |   |   |                             |   |    | 萌<br>芽                   |   |   |       | 着<br>蕾 | 開<br>花 |        | 黄<br>変 |   |     |   |    |                   |   |   |                                 |   |   |
| 作業体系        |    |   |   |                     |   |   |                             |   | 播種 |                          |   |   |       | 培土     |        |        |        |   |     |   | 収穫 |                   |   |   |                                 |   |   |
| かん水の目安      |    |   |   |                     |   |   | 6月から7月は大事な時期。適度な水分で、元気いっぱい。 |   |    |                          |   |   | 重点期   |        |        |        |        |   | 危険期 |   |    |                   |   |   | 8月以降のかん水は、土の中の空気が少なくなって、息苦しいよお。 |   |   |
| かん水に適した土壌水分 |    |   |   | 作物の生育が停滞する恐れのある水分状態 |   |   |                             |   |    | かん水開始のF値                 |   |   | pF2.5 |        |        | 適切な水分域 |        |   |     |   |    | 十分な降雨やかん水の翌日の水分状態 |   |   |                                 |   |   |
|             |    |   |   | pF値                 |   |   |                             |   |    | 3.0                      |   |   | 2.0   |        |        | 1.0    |        |   |     |   |    | pF1.5~1.8ほ場容水量    |   |   |                                 |   |   |
|             |    |   |   |                     |   |   |                             |   |    | ※適切な水分域は深さ10~15cmを対象とする。 |   |   |       |        |        |        |        |   |     |   |    |                   |   |   |                                 |   |   |

## かん水のわらい

☆地上部の養分吸収と生育促進による乾物生産を拡大します。

用語解説のページへ

## かん水のポイント

- ☆培土後は根域が制限され乾きやすくなるので、かん水量を5mm程度上乗せします。
- ☆培土期以降のかん水で茎葉を濡らしたままにしておくと疫病発生の危険性が増しますので、なるべく天気の良い日の午前中に済ませます。またできるだけ雨滴の細かい機器、ノズルを使いかん水強度を弱めます。

## 失敗しないためのアドバイス

- ☆茎葉黄変始め期以降の降雨やかん水は、一時的にしても土壌中の空気率を低下させて塊茎の腐敗を招くので行いません。
- ☆そうか病発生を抑制するためのかん水は、開始点をpF2.3としますが、かん水期間は同じです。

## 用語解説

### 【かん水期の目安】

かん水期間の目安として、かん水期、重点期、注意期、危険期に区分して表示しました。

- ” **かん水期** ” . . . 対象とする作物の生育ステージのなかで、水分不足となったときにかん水が必要な時期を表します。
- ” **重点期** ” . . . 水分不足時に特にかん水を必要とする期間になります。
- ” **注意期** ” . . . 水分不足であっても、かん水することで病害等の発生や品質の低下なども考慮しなければならない期間です。
- ” **危険期** ” . . . 水分不足であっても、かん水による効果はほとんど得られず、病害や品質低下といった危険性が大きくなる期間です。

### 【かん水に適した土壌水分】

かん水によって調整する土壌水分の水分域として、” pF値 ” を表示してあります。

pF1.5～1.8は、十分な降雨やかん水の翌日の水分状態に相当します。pF3.0は、ほ場の表面が乾いて白っぽくなる状態で、作物の生育が停滞する恐れのある水分状態に相当します。

作物の生育期節によって適切な水分域は異なりますが、適切な水分域のpF値で上限値となった場合にかん水を開始します。生育の初期や野菜作などは、作物の特性から指標pF値が低くなり、”カラカラ”に乾く前にかん水することになります。



- ” **pF値** ” . . . 土壌水分状態を表すには” pF [ピーエフ] ” という単位があります。これは、土粒子と水とが結びついている力を数値によって表したものです。この” pF ” の値は、土壌水分計などで測定することができます。” pF ” の値が大きいほど乾燥しており、作物が根から水分を吸収するのに大きな力が必要になることを意味します。

[かん水適期のページへ](#)